

2016年度第3四半期決算説明会（電話会議）資料

2017年 2月14日（火）

MS&AD

INSURANCE GROUP

MS&ADインシュアランスグループホールディングス株式会社

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

全体目次

2016年度第3四半期決算の概要

グループ連結	資料1-5
国内損害保険会社	資料6-10
国内生命保険会社	資料11-12
海外保険子会社	資料13

2016年度第3四半期決算データ

三井住友海上（単体）	資料14-16
あいおいニッセイ同和損保（単体）	資料17-19
三井住友海上 + あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）	資料20-21
（参考）MS Amlin 2016年度第3四半期(2016年1-9月期)業績	資料22
（参考）ESRの状況 補足説明	資料23
（参考）三井住友海上プライマリー生命 補足説明	資料24

2016年度業績予想

グループ連結	資料25-27
今回業績予想の主な前提	資料28
三井住友海上（単体）	資料29-30
あいおいニッセイ同和損保（単体）	資料31-32
三井住友海上 + あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）	資料33-34
（参考）MS Amlin 連結による2016年度業績への影響見込み	資料35

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

2016年度第3四半期決算の概要

グループ連結	資料 1-5
国内損害保険会社	資料 6-10
国内生命保険会社	資料 11-12
海外保険子会社	資料 13

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

MS & ADホールディングス 広報・IR部の塩野でございます。
本日は、お忙しい中、本会議にご参加いただき、ありがとうございます。

資料1 グループ連結（2016年度第3四半期）①業績の概要 1

- 正味収入保険料は、MS Amlinの新規連結効果により前年同期比 11.4%増収となる 2兆6,086億円
- 生命保険料は、三井住友海上プライマリー生命における前年度の新商品効果による増収の反動などから、前年同期比△3.1%減収の 9,355億円

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度		増収率
		第3四半期	前年同期比	
元受正味保険料(除く収入積立保険料)※	25,619	26,661	1,041	4.1%
正味収入保険料※	23,409	26,086	2,676	11.4%
三井住友海上	11,463	11,043	△ 419	△ 3.7%
あいおいニッセイ同和損保	9,027	9,051	24	0.3%
三井ダイレクト損保	266	274	8	3.2%
海外保険子会社	2,608	5,672	3,064	117.5%
生命保険料	9,654	9,355	△ 298	△ 3.1%

※ 自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

<参考: 保険料(グロス収入保険料)>

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度		増収率
		第3四半期	前年同期比	
三井住友海上あいおい生命	3,376	3,490	114	3.4%
三井住友海上プライマリー生命	9,705	7,820	△ 1,885	△ 19.4%

それでは、「2016年度第3四半期決算説明会 電話会議 資料」と題したスライドの1ページ目、「資料1」をご覧ください。

グループのトップラインの状況をご説明いたします。

正味収入保険料は、国内で、前年度の火災保険の商品改定および駆け込み需要の反動影響がありました。海外保険子会社のMS Amlinを新規連結したことから、11.4%の大幅な増収となりました。

また、生命保険料は、MSP生命において、前年度好調だった外貨建変額保険の新商品の販売が一巡したことなどから、当年度は3.1%の減収となっています。

資料2 グループ連結（2016年度第3四半期）①業績の概要 2

- ・ 経常利益は、国内損保事業の増益のけん引により、前年同期比 +21.7%増益の 3,188億円
- ・ 四半期純利益は、前年同期比 +22.8%増益の 2,096億円

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年同期比	増減率
経常利益	2,619	3,188	569	21.7%
三井住友海上	1,389	1,689	299	21.6%
あいおいニッセイ同和損保	606	800	194	32.2%
三井ダイレクト損保	△ 25	1	26	-
三井住友海上あいおい生命	163	130	△ 32	△ 19.9%
三井住友海上プライマリー生命	417	487	70	16.9%
海外保険子会社	320	393	72	22.5%
その他・連結調整等	△ 252	△ 314	△ 61	-
四半期純利益 ※	1,707	2,096	389	22.8%
三井住友海上	1,001	1,251	250	25.0%
あいおいニッセイ同和損保	338	563	224	66.4%
三井ダイレクト損保	△ 21	△ 0	20	-
三井住友海上あいおい生命	85	61	△ 24	△ 28.8%
三井住友海上プライマリー生命	287	338	50	17.5%
海外保険子会社	248	284	35	14.3%
その他・連結調整等	△ 233	△ 401	△ 168	-

※ 連結の四半期純利益は、親会社株主に帰属する四半期純利益を表す。子会社の四半期純利益は、出資持分ベース。以下同じ。

次に、「資料2」をご覧ください。

グループの利益の状況について、記載しております。

経常利益は、この表の1行目にあります通り、21.7%増益の 3,188億円、
また、表の中ほどにある四半期純利益も、22.8%増益の 2,096億円となり、ともに、公表している通期の会社予想の水準を超過しております。

通期の会社予想につきましては、年度末に向け、米国におけるハリケーンやニュージーランドにおける地震などの影響が一定あること、また、雪害や準備金の繰入など不確定な要素もあるため、変更しておりません。

資料3 グループ連結（2016年度第3四半期）②グループコア利益

- ・グループコア利益は、前年同期比 569億円増益の 2,100億円
- ・国内損保の公表コンバインドレシオは、正味収入保険料の減収を主因に、前年同期比 1.0pt上昇の 91.2%

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	
			前年同期比
グループコア利益 ※1	1,531	2,100	569
国内損保事業	868	1,333	465
国内生保事業	371	398	26
海外事業	297	352	54
金融サービス事業/リスク関連事業	△ 6	16	23
その他経営数値目標			
コンバインド・レシオ(国内損保)※2	90.2%	91.2%	1.0pt
MSA生命EV増加額※3			
グループROE※3			

※1 「グループコア利益」の定義は最終ページご参照

※2 「コンバインド・レシオ(国内損保)」は、三井住友海上、あいおいニッセイ同和損保、三井ダイレクト損保の合計

※3 「MSA生命EV増加額」は半期ごと、「グループROE」は年度末に開示

(参考)

グループ コア利益 2,100	=	連結 四半期 純利益 2,096	-	株式 キャピタル 損益 407	-	クレジット デリバティブ 評価損益 △1	-	その他 特殊 要因※4 △411	+	非連結 グループ会社 持分利益 △0
-----------------------	---	---------------------------	---	--------------------------	---	-------------------------------	---	---------------------------	---	-----------------------------

※4 特別損益(除く価変動準備金)△199(第三分野移行に係るシステム関連費 △143、ロイズ事業・再保険事業のMS Amlinへの統合コスト△34等)、のれん償却等△211

次に「資料3」をご覧ください。

グループコア利益は、569億円の大増益の、2,100億円となりました。

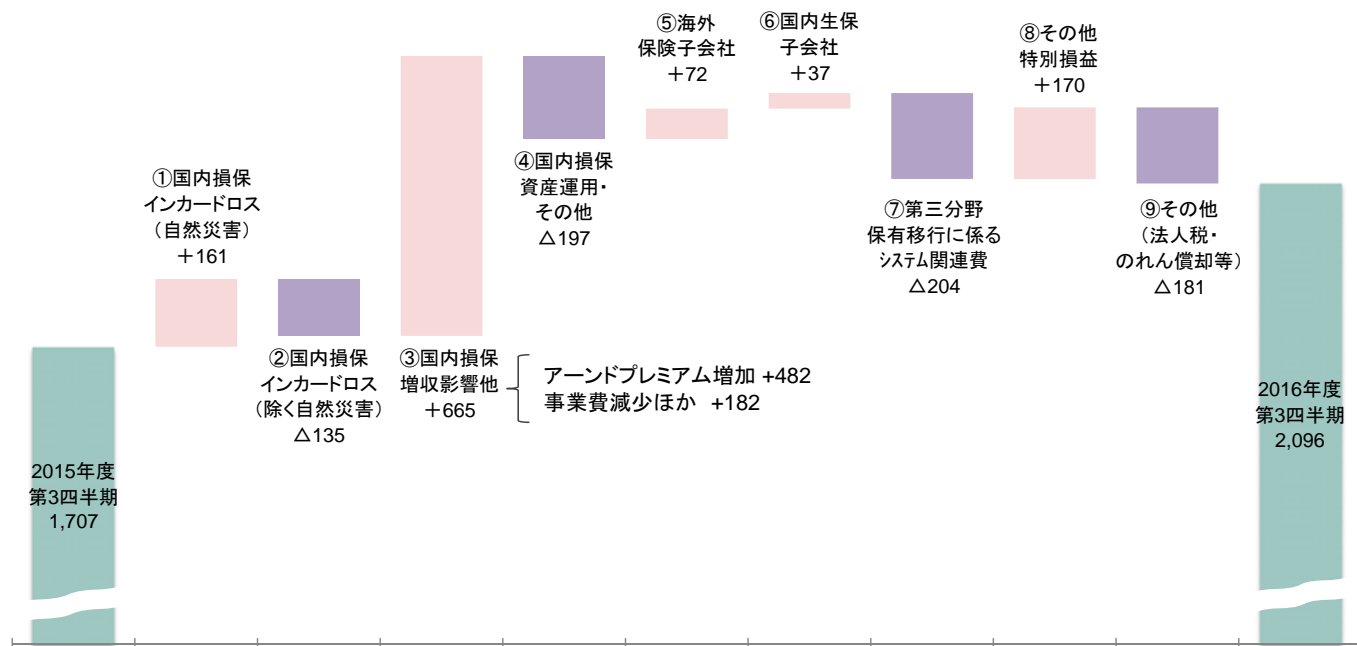
四半期純利益からの主な調整は、スライド下段に記載しております。

資料4 グループ連結（2016年度第3四半期）③前期との比較 1

・ 増益の主因は、③国内損保におけるアードプレミアムの増加などによる保険引受利益の拡大

連結純利益

(億円)



次に、四半期純利益について、前期からの変動を、要因別に分解してご説明いたします。「資料4」のグラフおよび「資料5」の表をご覧ください。

ご覧の通り、増益の主な要因は、③番の「国内損保の増収影響他」となっています。

内訳は、過去の増収基調を反映したアードプレミアムの増加が482億円、事業費の減少ほか182億円となります。

連結純利益の増減要因

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	差額
連結純利益	1,707	2,096	389
国内損保 ^{※1} (経常利益)	1,995	2,490	494
インカードロス(含む損害調査費) (除く家計地震・自賠償)	△ 9,913	△ 9,886	26
自然災害 ^{※2} ①	△ 653	△ 491	161
除く自然災害 ②	△ 9,259	△ 9,395	△ 135
増収影響他 ^{※3} ③	10,369	11,034	665
資産運用・その他 ④	1,539	1,342	△ 197
海外保険子会社(経常利益) ⑤	320	393	72
国内生保子会社(経常利益) ⑥	580	618	37
第三分野保有移行に係るシステム関連費 ⑦	-	△ 204	△ 204
その他特別損益 ⑧	△ 300	△ 129	170
その他(法人税・のれん償却等) ⑨	△ 889	△ 1,071	△ 181

※1 国内損保は、三井住友海上とあいおいニッセイ同和損保の金額の合計

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害(熊本地震を含む)のインカードロスの金額。ただし2015年度第3四半期は、大雪(2014年2月発生)に係るインカードロスを含む。

※3 「増収影響他」は、インカードロス以外の保険引受利益

(空白)

資料6 国内損害保険会社（2016年度第3四半期）①主要2社の業績概要 1

- ・ 正味収入保険料は、前年度に実施した火災保険の商品改定影響を主因に2社合計で △395 億円減収の 2兆94億円
- ・ 保険引受利益は、アーンドプレミアムの増加などにより、691億円増益の 1,147億円

	(億円)					
	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		＜ご参考＞2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
正味収入保険料	11,043	△ 419	9,051	24	20,094	△ 395
正味収入保険料 増収率	△ 3.7%	△ 10.0pt	0.3%	△ 3.4pt	△ 1.9%	△ 7.0pt
正味支払保険金 (－)	5,963	15	4,867	7	10,830	22
＜インカードロス(含む損害調査費)＞ (－)	6,801	17	5,310	27	12,112	45
諸手数料及び集金費 (－)	1,887	△ 125	1,691	△ 6	3,579	△ 131
営業費及び一般管理費(保険引受) (－)	1,492	19	1,302	△ 75	2,794	△ 55
異常危険準備金反映前保険引受利益	1,025	404	781	266	1,807	670
異常危険準備金取崩額(△は繰入)	△ 350	104	△ 309	△ 83	△ 659	21
保険引受利益	675	509	471	182	1,147	691
諸比率						
正味損害率	59.8%	2.4pt	58.8%	△ 0.1pt	59.4%	1.3pt
正味事業費率	30.6%	0.2pt	33.1%	△ 1.0pt	31.7%	△ 0.3pt
コンバインド・レシオ	90.4%	2.6pt	91.9%	△ 1.1pt	91.1%	1.0pt
＜除く家計地震・自賠償＞						
正味損害率	56.0%	1.8pt	54.7%	△ 0.8pt	55.4%	0.6pt
正味事業費率	32.5%	0.1pt	34.7%	△ 1.6pt	33.5%	△ 0.6pt
コンバインド・レシオ	88.5%	1.9pt	89.4%	△ 2.4pt	88.9%	0.0pt

※自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

次に、国内損保子会社2社の状況を説明いたします。

「資料6」の右端の2社合計の列をご参照下さい。

まず、正味収入保険料は、火災保険の減収を主因に、1.9%減収となりました。

また、インカードロスを含めた保険引受利益は、先ほど申し上げたアーンドプレミアムの増加に加え、諸手数料及び集金費、営業費及び一般管理費などの事業費が減少したことなどにより、691億円増益の 1,147億円となりました。

資料7 国内損害保険会社（2016年度第3四半期）①主要2社の業績概要 2

- ・資産運用・その他収支は、前年同期比 △197億円減少の 1,342億円
- ・四半期純利益は、前年同期比 475億円増益の 1,815億円
- ・政策株式は、2社合計で 1,087億円を売却

(億円)

	三井住友海上(単体)		あいおいニッセイ同和(単体)		＜ご参考＞2社合計(単純合計)	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
保険引受利益	675	509	471	182	1,147	691
ネット利息及び配当金収入	562	△ 133	287	△ 40	850	△ 173
有価証券売却損益	526	△ 118	86	18	612	△ 99
有価証券評価損 (－)	0	△ 36	12	△ 25	13	△ 61
資産運用・その他収支	1,013	△ 209	328	12	1,342	△ 197
経常利益	1,689	299	800	194	2,490	494
特別損益	△ 36	79	△ 60	103	△ 96	182
税引前四半期純利益	1,653	378	740	298	2,394	677
四半期純利益	1,251	250	563	224	1,815	475

	2社合計	
		前年同期比
(参考)政策株式売却額	1,087	△ 232

次に、「資料7」をご覧ください。

「資産運用・その他収支」は、197億円減益の 1,342億円となっております。

以上の結果、経常利益は 494億円増益の 2,490億円、
四半期純利益は 475億円増益の 1,815億円となりました。

なお、政策株式の売却額は、通期で想定している1,200億円に対し、
第3四半期末までの2社合計で 1,087億円と順調に進捗しています。

資料8 国内損害保険会社（2016年度第3四半期）②自然災害に係る影響

・自然災害に係るインカドロス^{※1}は、2社合計で前年同期比 △161億円減少の 491億円
 （2016年度第2四半期末から、33億円増加）

自然災害の影響

（億円）

	インカドロス		支払保険金		支払備金繰入額	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比
当年度発生国内自然災害 ^{※1}	491	△ 159	323	△ 158	168	△ 0
三井住友海上	329	△ 45	202	△ 64	126	19
あいおいニッセイ同和損保	162	△ 113	120	△ 93	41	△ 19
（うち熊本地震）	134	134	68	68	65	65
三井住友海上	96	96	49	49	46	46
あいおいニッセイ同和損保	37	37	19	19	18	18
（除く熊本地震）	357	△ 293	254	△ 227	103	△ 66
三井住友海上	233	△ 141	152	△ 114	80	△ 27
あいおいニッセイ同和損保	124	△ 151	101	△ 112	23	△ 38
2014年2月大雪による損害 ^{※2}	-	△ 2	-	△ 14	-	12
合 計	491	△ 161	323	△ 172	168	11

※1 家計地震を除く。

※2 2014年2月大雪による損害に係る当期の各項目については、影響が軽微なため集計していない。

次に、自然災害の影響を説明いたします。「資料8」をご覧ください。

一番下の行にあるとおり、2社合算のインカドロスは、前年同期比161億円減少し、491億円となりました。

なおこれは、当年度の第2四半期末から33億円の増加です。

資料9 国内損害保険会社（2016年度第3四半期）③異常危険準備金

- ・異常危険準備金のネット繰入額は、2社合計で前年同期比 △21億円減少の 659億円
- ・繰入額は、火災保険の減収の影響により、2社合計で前年同期の 808億円から 758億円に減少

異常危険準備金

(億円)

		取崩額	繰入額	ネット繰入額		残高
					前年同期比	
三井住友海上	火災	85	123	38	△ 139	1,440
	海上	-	20	20	△ 2	774
	傷害	-	33	33	18	665
	自動車	-	157	157	5	537
	その他	2	102	100	13	1,757
	合計	87	437	350	△ 104	5,175
あいおいニッセイ 同和損保	火災	-	91	91	△ 12	1,212
	海上	-	0	0	△ 0	139
	傷害	-	14	14	△ 0	646
	自動車	6	164	157	85	456
	その他	4	49	44	10	636
	合計	11	320	309	83	3,091
2社合計 (単純合計)	火災	85	215	130	△ 151	2,653
	海上	-	21	21	△ 2	913
	傷害	-	48	48	17	1,312
	自動車	6	321	315	90	994
	その他	6	151	145	24	2,393
	合計	98	758	659	△ 21	8,267

次に、異常危険準備金について、「資料9」をご覧ください。

2社合計のネット繰入額は、一番下の行にあるとおり、前年同期比で21億円減少の659億円と、前年度並みの水準となっています。

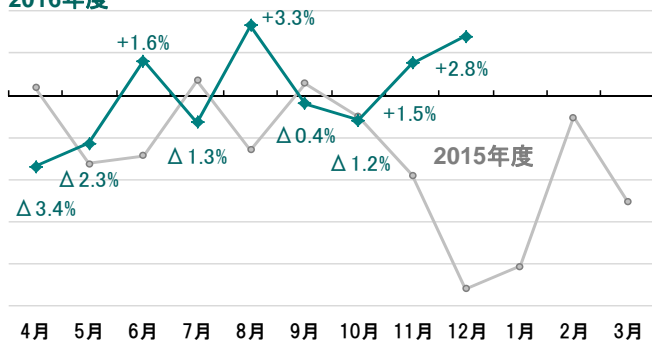
資料10 国内損害保険会社（2016年度第3四半期）④自動車保険の状況

- ・ EI損害率は、アードプレミアムの増加および、インカードロスの減少により、前年同期比 $\Delta 1.2$ pt 低下の 56.8%
- ・ 事故件数は、12月末累計で前年比 $\Delta 0.2$ ptの低下。修理費等の上昇により、対物・車両の保険金単価は引き続き上昇

事故件数の推移（除く自然災害）

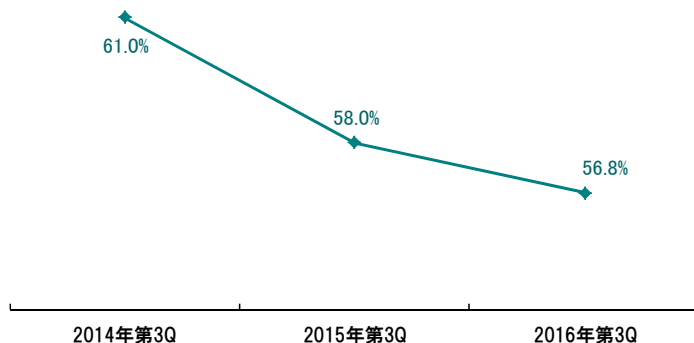
（MS・AD 2社単純合算ベース）
（国内、1日あたり、対前年同月）

2016年度



EI 損害率の推移（含む損害調査費）

（MS・AD 2社単純合算ベース）



保険料・保険金

三井住友海上

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	+0.9%	+0.4%	+1.3%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.3%	+1.8%	

あいおいニッセイ同和損保

<国内・営業ベース>	契約台数	保険料単価	保険料
保険料増減要因	$\Delta 0.5\%$	+0.6%	+0.2%
<国内>	対物	車両（除く自然災害）	
保険金単価増減	+0.6%	+1.3%	

※ 保険料増減要因の諸数値は営業成績ベース(4-12月)の対前年同期比

※ 保険金単価の増減は、2016年3月末までの1年間の保険金単価に対する、2016年12月末までの1年間の保険金単価の増減を表示

※ EI損害率算出対象期間は、各年度の4-12月

次に「資料10」をご覧ください。自動車保険の状況を説明いたします。

2016年度第3四半期の2社合算のEI損害率は、アードプレミアムの増加と、インカードロスの減少により、上段右のグラフの通り、56.8%と前年同期から1.2ポイント低下しました。

資料11 国内生命保険会社（三井住友海上あいおい生命） 業績概要

- ・新契約高は、遡増定期保険や収入保障保険の減少などにより、前年同期比 $\Delta 11.8\%$ 減少の 1兆6,051億円
- ・新契約年換算保険料（第三分野）は、前年同期比 11.1%増加の 113億円
- ・四半期純利益は、前年同期比 $\Delta 24$ 億円減益の 61億円

三井住友海上あいおい生命

(億円)

	2015年度		2016年度		増減率
	第3四半期	第3四半期	前年同期比	増減率	
新契約高（個人合計）	18,190	16,051	$\Delta 2,139$	$\Delta 11.8\%$	
新契約年換算保険料	354	336	$\Delta 18$	$\Delta 5.3\%$	
うち 第三分野	102	113	11	11.1%	
保有契約高（個人合計）	(期首) 225,760	228,758	(期首比) 2,998	1.3%	
保有契約年換算保険料	(期首) 3,757	3,897	(期首比) 140	3.7%	
うち 第三分野	(期首) 787	859	(期首比) 71	9.1%	
保険料(グロス収入保険料)	3,376	3,490	114	3.4%	
経常利益	163	130	$\Delta 32$	$\Delta 19.9\%$	
特別損益	$\Delta 5$	$\Delta 5$	$\Delta 0$	-	
四半期純利益	85	61	$\Delta 24$	$\Delta 28.8\%$	
基礎利益	144	158	13	9.2%	

次にMSA生命の状況について説明します。「資料11」をご覧ください。

第三分野の新契約年換算保険料は、5月に発売した新商品の販売が好調で、11.1%の増加となっています。

四半期純利益は、24億円減益の 61億円となっておりますが、これは、有価証券売却益の減少が主因です。

資料12 国内生命保険会社（三井住友海上プライマリー生命） 業績概要

- ・ グロス収入保険料は、前年度の新商品効果（外貨建変額保険）の剥落を主因に、前年同期比 $\Delta 19.4\%$ 減収の 7,820億円
 - ・ 四半期純利益は、販売コストの減少や利ざや収入の拡大などにより、前年同期比 50億円増益の 338億円
- なお、価格変動準備金の取崩は発生していない。（詳細は資料24を参照）

三井住友海上プライマリー生命

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
新契約高（個人合計）	9,374	7,591	$\Delta 1,782$	$\Delta 19.0\%$
保有契約高（個人合計）	(期首) 49,108	54,888	(期首比) 5,780	11.8%
保険料(グロス収入保険料)	9,705	7,820	$\Delta 1,885$	$\Delta 19.4\%$
経常利益	417	487	70	16.9%
特別損益	$\Delta 13$	$\Delta 17$	$\Delta 4$	-
四半期純利益	287	338	50	17.5%
基礎利益	379	531	151	39.9%

続いてMSP生命の状況を説明いたします。「資料12」をご覧ください。

グロス収入保険料は、前年度に販売開始した変額保険の新商品効果が一巡したことから、19.4%減収の7,820億円となりました。なお、主力の「外貨建て定額終身保険」では前年同期並みの水準となっております。

四半期純利益は、販売コスト減少や利ざや収入の拡大などにより、50億円増益の338億円となっております。

なお、第2四半期までは、オーストラリア金利の低下や円高となったことにもない発生した会計上の損失に対して価格変動準備金の取り崩しを行いました。その後、オーストラリア金利が上昇したことや円安が進んだことなどから、今四半期末時点では損失が解消され、逆に利益が生じる状況となったため、価格変動準備金の取崩しは生じておりません。

価格変動準備金については、年度末に向けて、保有資産や保有契約に係る将来の価格変動リスクを基礎に必要な残高を計算し、追加積立を行うことを検討しています。

MSP生命における、金利・為替影響について、「資料24」に参考資料をお付けしておりますので、後ほどご確認ください。

資料13 海外保険子会社（2016年度第3四半期）業績概要

- ・ 正味収入保険料は、MS Amlinが加わり 5,672億円に拡大。既存の海外保険子会社は、為替影響により△275億円の減収（既存の海外保険子会社への為替影響 △376億円、現地通貨ベースでは3.9%増収）
- ・ 四半期純利益は、MS Amlinが新規連結となったものの、ロイズ事業・再保険事業の統合コストもあり、35億円増益の284億円（既存の海外保険子会社への為替影響 △18億円）

海外保険子会社

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年同期比	
			前年同期比	増減率
正味収入保険料	2,608	5,672	3,064	117.5%
アジア	1,294	1,167	△ 126	△ 9.8%
欧州	772	667	△ 105	△ 13.7%
米州	358	339	△ 18	△ 5.1%
再保険	183	158	△ 24	△ 13.5%
MS Amlin	-	3,339	3,339	-
四半期純利益	248	284	35	14.3%
アジア	148	113	△ 34	△ 23.2%
欧州	△ 5	△ 55	△ 49	-
米州	20	19	△ 0	△ 2.6%
再保険	85	88	3	4.2%
MS Amlin	-	116	116	-

次に海外保険子会社の状況について説明いたします。「資料13」をご覧ください。

正味収入保険料は、MS Amlinの新規連結効果により、3,064億円の大幅増収となりました。

MS Amlinを除く既存の海外保険子会社は、合計で 275億円の減収となりましたが、これは円高による為替のマイナス影響 376億円が主因であり、現地通貨ベースでは、3.9%の増収となっております。

一方、四半期純利益は、MS Amlinが 116億円の利益を挙げたものの、ロイズ事業・再保険事業のMS Amlinへの統合費用 41億円を特別損失に計上したことや、円高による為替のマイナス影響 18億円などにより、全体では 35億円増益の 284億円にとどまりました。

2016年度第3四半期決算 データ

三井住友海上(単体)	資料14-16
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料17-19
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合算)	資料20-21
(参考)MS Amlin 2016年度第3四半期(2016年1-9月期)業績	資料22
(参考)ESRの状況	資料23
(参考)三井住友海上プライマリー生命 補足説明	資料24

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料14 三井住友海上(単体) 2016年度第3四半期業績①

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	11,463	11,043	△ 419
正味収入保険料 増収率	6.3%	△ 3.7%	△10.0pt
正味損害率	57.4%	59.8%	2.4pt
正味事業費率	30.4%	30.6%	0.2pt
コンバインド・レシオ	87.8%	90.4%	2.6pt
インカードロス(含む損害調査費)	6,783	6,801	17
保険引受利益	166	675	509
ネット利息及び配当金収入	696	562	△ 133
有価証券売却損益	644	526	△ 118
有価証券評価損	△ 37	0	36
資産運用損益	1,250	1,043	△ 206
経常利益	1,389	1,689	299
特別損益	△ 115	△ 36	79
四半期純利益	1,001	1,251	250
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	6.3%	△ 3.9%	△10.2pt
正味損害率	54.2%	56.0%	1.8pt
正味事業費率	32.4%	32.5%	0.1pt
コンバインド・レシオ	86.6%	88.5%	1.9pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,653	5,613	△ 40

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース
 ※「正味損害率」は「リトン・ペイド」ベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

資料15 三井住友海上（単体）2016年度第3四半期業績②

正味収入保険料

(億円)

	2015年度	2016年度	増収率
	第3四半期	第3四半期	
火災	1,942	1,366	△29.6%
海上	513	444	△13.5%
傷害	1,041	1,058	1.7%
自動車	4,853	4,921	1.4%
自賠償	1,418	1,385	△2.3%
その他	1,694	1,866	10.2%
合計	11,463	11,043	△3.7%
除く家計地震・自賠償	10,039	9,651	△3.9%

正味損害率

	2015年度	2016年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期	
火災	52.1%	73.5%	21.4pt
海上	50.5%	61.5%	11.0pt
傷害	58.7%	55.2%	△3.5pt
自動車	57.9%	56.3%	△1.6pt
自賠償	79.9%	82.8%	2.9pt
その他	44.4%	44.3%	△0.1pt
合計	57.4%	59.8%	2.4pt
除く家計地震・自賠償	54.2%	56.0%	1.8pt

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

資料16 三井住友海上（単体）2016年度第3四半期業績③

インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

(億円)

	2015年度 第3四半期					2016年度 第3四半期					
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害 影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	インカードロス (c)	E I 損害率	自然災害 影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	前年同期比
火災 (除く家計地震)	985	63.3%	329	656	42.2%	1,003	62.7%	295	708	44.2%	2.0pt
海上	325	62.2%	1	324	61.9%	271	58.3%	2	269	57.9%	△4.0pt
傷害	586	55.4%	0	586	55.4%	570	54.6%	0	570	54.6%	△0.8pt
自動車	2,895	60.2%	24	2,870	59.6%	2,824	57.5%	12	2,812	57.3%	△2.3pt
その他	860	54.0%	21	839	52.7%	943	52.6%	19	923	51.5%	△1.2pt
合計(A)	5,653	59.2%	376	5,277	55.3%	5,613	57.2%	329	5,283	53.8%	△1.5pt
家計地震(B)	-	/	-	-	/	59	/	59	-	/	/
自賠償(C)	1,130	/	-	1,130	/	1,128	/	-	1,128	/	/
合計(A)+(B)+(C)	6,783	/	376	6,407	/	6,801	/	388	6,412	/	/

※自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金繰入額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料(除く自然災害責任準備金)・保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。ただし2015年度第3四半期は、大雪(2014年2月発生)に係るインカードロス(1億円)を含む。

資料17 あいおいニッセイ同和損保（単体）2016年度第3四半期業績①

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	9,027	9,051	24
正味収入保険料 増収率	3.7%	0.3%	△3.4pt
正味損害率	58.9%	58.8%	△0.1pt
正味事業費率	34.1%	33.1%	△1.0pt
コンバインド・レシオ	93.0%	91.9%	△1.1pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,283	5,310	27
保険引受利益	289	471	182
ネット利息及び配当金収入	327	287	△40
有価証券売却損益	67	86	18
有価証券評価損	△38	△12	25
資産運用損益	307	296	△11
経常利益	606	800	194
特別損益	△163	△60	103
四半期純利益	338	563	224
〈除く家計地震・自賠責〉			
正味収入保険料 増収率	3.7%	0.9%	△2.8pt
正味損害率	55.5%	54.7%	△0.8pt
正味事業費率	36.3%	34.7%	△1.6pt
コンバインド・レシオ	91.8%	89.4%	△2.4pt
インカードロス(含む損害調査費)	4,259	4,273	13

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

資料18 あいおいニッセイ同和損保（単体）2016年度第3四半期業績②

正味収入保険料

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	増収率
火災	1,277	1,126	△11.8%
海上	43	40	△8.2%
傷害	490	471	△3.9%
自動車	5,052	5,123	1.4%
自賠責	1,299	1,252	△3.6%
その他	863	1,036	20.1%
合計	9,027	9,051	0.3%
除く家計地震・自賠責	7,722	7,794	0.9%

正味損害率

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年同期比
火災	52.4%	58.0%	5.6pt
海上	45.7%	49.7%	4.0pt
傷害	50.8%	47.4%	△3.4pt
自動車	57.7%	55.8%	△1.9pt
自賠責	79.2%	81.0%	1.8pt
その他	50.5%	53.0%	2.5pt
合計	58.9%	58.8%	△0.1pt
除く家計地震・自賠責	55.5%	54.7%	△0.8pt

資料19 あいおいニッセイ同和損保（単体）2016年度第3四半期業績③

インカードロスとE I 損害率（含む損害調査費）

（億円）

	2015年度 第3四半期					2016年度 第3四半期					前年同期比
	インカードロス (a)	E I 損害率	自然災害 影響 (b)	(a)-(b)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	インカード ロス (c)	E I 損害率	自然災害 影響 (d)	(c)-(d)	E I 損害率 (除く自然災害 影響)	
火災 (除く家計地震)	688	60.8%	232	455	40.3%	625	51.8%	141	484	40.1%	△0.2pt
海上	22	56.3%	-	22	56.3%	22	51.6%	-	22	51.6%	△4.7pt
傷害	229	46.6%	0	229	46.6%	211	46.7%	0	211	46.7%	0.1pt
自動車	2,838	56.0%	29	2,808	55.4%	2,851	56.0%	12	2,838	55.8%	0.4pt
その他	481	58.0%	14	466	56.3%	561	57.3%	8	553	56.4%	0.1pt
合計(A)	4,259	56.3%	276	3,982	52.7%	4,273	55.0%	162	4,111	52.9%	0.2pt
家計地震(B)	-	/	-	-	/	43	/	43	-	/	/
自賠償(C)	1,023	/	-	1,023	/	994	/	-	994	/	/
合計(A)+(B)+(C)	5,283	/	276	5,006	/	5,310	/	205	5,105	/	/

※インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金繰入額

※E I 損害率の分母となるアード(既経過)保険料は、未経過保険料、保険料積立金等を調整して算出

※合計(A)は除く家計地震、自賠償

※「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。ただし、2015年度第3四半期は、大雪(2014年2月発生)に係るインカードロス(1億円)を含む

資料20 三井住友海上＋あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

（億円）

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	前年同期比
正味収入保険料	20,490	20,094	△395
正味保険料 増収率	5.1%	△1.9%	△7.0pt
正味損害率	58.1%	59.4%	1.3pt
正味事業費率	32.0%	31.7%	△0.3pt
コンバインド・レシオ	90.1%	91.1%	1.0pt
インカードロス(含む損害調査費)	12,067	12,112	45
保険引受利益	456	1,147	691
ネット利息及び配当金収入	1,023	850	△173
有価証券売却損益	711	612	△99
有価証券評価損	△75	△13	61
資産運用損益	1,558	1,339	△218
経常利益	1,995	2,490	494
特別損益	△279	△96	182
四半期純利益	1,339	1,815	475
＜除く家計地震・自賠償＞			
正味保険料 増収率	5.2%	△1.8%	△7.0pt
正味損害率	54.8%	55.4%	0.6pt
正味事業費率	34.1%	33.5%	△0.6pt
コンバインド・レシオ	88.9%	88.9%	0.0pt
インカードロス(含む損害調査費)	9,913	9,886	△26

※「正味損害率」は「リターン・ペイド」ベース

資料21 三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保（単体単純合算）

正味収入保険料

(億円)

	2015年度	2016年度	増収率
	第3四半期	第3四半期	
火災	3,219	2,492	△22.6%
海上	557	484	△13.1%
傷害	1,532	1,530	△0.1%
自動車	9,905	10,045	1.4%
自賠償	2,717	2,638	△2.9%
その他	2,557	2,903	13.5%
合計	20,490	20,094	△1.9%
除く家計地震・自賠償	17,762	17,446	△1.8%

正味損害率

	2015年度	2016年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期	
火災	52.2%	66.5%	14.3pt
海上	50.1%	60.6%	10.5pt
傷害	56.1%	52.8%	△3.3pt
自動車	57.8%	56.0%	△1.8pt
自賠償	79.5%	81.9%	2.4pt
その他	46.5%	47.4%	0.9pt
合計	58.1%	59.4%	1.3pt
除く家計地震・自賠償	54.8%	55.4%	0.6pt

インカードロス（除く家計地震・自賠償）

(億円)

	2015年度	2016年度	前年同期比
	第3四半期	第3四半期	
インカードロス(含む損害調査費) ^{※1}	9,913	9,886	△26
自然災害 ^{※2}	653	491	△161
自然災害以外	9,259	9,395	135

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金繰入額

※2 「自然災害」は、当年度発生国内自然災害をいう。ただし、2015年度第3四半期は、大雪（2014年2月発生）に係るインカードロス（2億円）を含む

資料22（ご参考）MS Amlin 2016年度第3四半期（2016年1-9月期）業績

(百万ポンド)

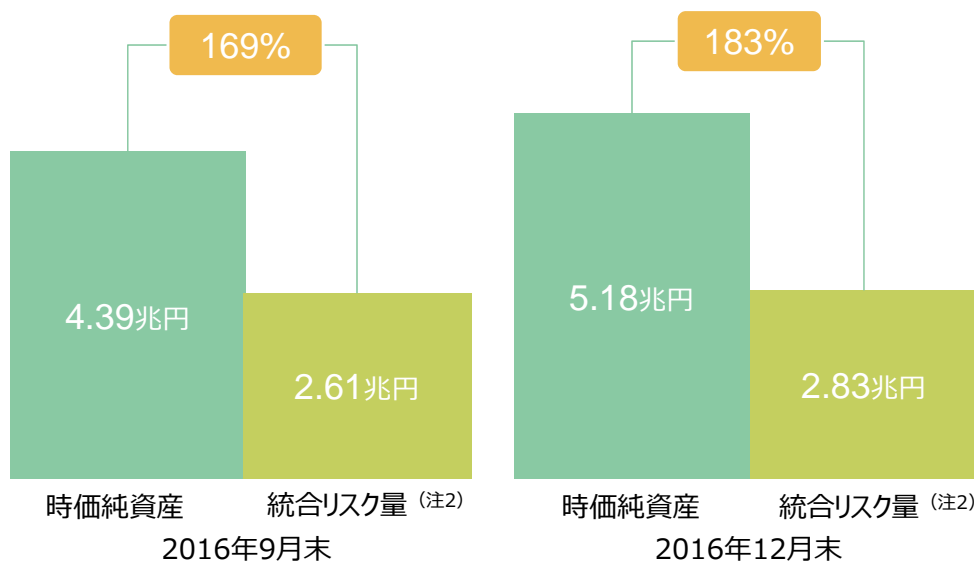
	2016年度
	第3四半期
正味収入保険料	2,214
正味経過保険料	1,810
インカードロス(含む損害調査費)	1,115
手数料・社費	652
保険引受利益	76
資産運用収益 ^{※1}	100
その他損益 ^{※2}	△71
四半期純利益	77
E/I 損害率	61.6%
E/I 事業費率 ^{※3}	34.2%
E/I コンバインド・レシオ ^{※3}	95.8%

※1 同社は有価証券の時価変動を損益に反映させる会計処理方法を採用

※2 その他損益の主な項目は保険事業会社以外で生じる経費等

※3 E/I 事業費率及びE/I コンバインド・レシオは、保険引受利益に含まれる為替差損益を入れて算出

ESR^(注1)



ESRは、主に以下のような要因により、14pt増加

- ↗ 国内金利の上昇に伴う、経済価値ベースの保険負債の減少(時価純資産の増加) および生保引受リスク・金利リスクの減少
- ↗ 株価上昇による資産時価の増加(時価純資産の増加)
- ↘ 株価上昇による株式リスクの増加
- ↗ 円安による資産時価の増加(時価純資産の増加)
- ↗ 利益の積み上げによる時価純資産の増加
- ↗ 劣後債発行による時価純資産の増加
- ↗ 政策株式の売却による株式リスクの減少

<市場環境前提>

	2016年 9月末	2016年 12月末	対9月末
日経平均株価	16,450円	19,114円	+2,665円
為替(ドル円)	101円	117円	+16円
国債30年金利	0.46%	0.72%	+0.26pt

(注1) ESR : エコノミック・ソルベンシー・レシオ (=時価純資産÷統合リスク量)
 (注2) 統合リスク量 : 信頼水準99.5%のVaR (Value at Risk) でリスク量を計測。

最後に、ESRの状況について、ご説明いたします。

資料23をご覧ください。

12月末のESRは183%と、9月末の169%から 14pt増加しております。

スライドの右側に、主な要因を記載しておりますので、後ほどご覧ください。

なお、「資料14」から「資料21」まで、MSとAD、および2社の単純合算の業績を付けております。

また、「資料22」にMS Amlinの現地単体ベースの第3四半期業績、

「資料24」にMSP生命の金利・為替影響と価格変動準備金に関する補足説明を付けておりますので、後ほどご覧ください。

続いて、「資料25」以降に、昨年11月18日に発表いたしました、2016年度業績予想の資料を付けておりますが、こちらの数値に変更はございません。

以上で、私からのご説明を終わります。

金利・為替影響と価格変動準備金

(億円)

	2015年度 第3四半期	2016年度 第3四半期	<ご参考> 2015年度 第2四半期	<ご参考> 2016年度 第2四半期
金利影響	255	48	224	△128
為替影響	△126	44	△163	△115
小計	129	93	61	△243
売却益	98	85	71	85
合計	227	179	132	△157
価格変動準備金取崩	-	-	-	157

	2015年度 年度末	2016年度 第3四半期末
価格変動準備金残高	550	568

以降のスライドに、2016年度業績予想(2016年11月18日発表)の資料を掲載しています。

<ご参考> 2016年度業績予想 (2016年11月18日発表)

グループ連結	資料25-27
今回業績予想の主な前提	資料28
三井住友海上(単体)	資料29-30
あいおいニッセイ同和損保(単体)	資料31-32
三井住友海上+あいおいニッセイ同和損保(単体単純合算)	資料33-34
(参考)MS Amlin 連結による2016年度業績への影響見込み	資料35

(億円)

	2015年度	2016年度 (年初予想)	2016年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
正味収入保険料 [※]	30,789	34,550	33,870	3,080	10.0%	△ 680
三井住友海上	15,074	14,880	14,770	△ 304	△ 2.0%	△ 110
あいおいニッセイ同和損保	11,920	12,120	11,960	39	0.3%	△ 160
三井ダイレクト損保	365	376	376	10	2.8%	-
海外保険子会社	3,368	7,100	6,700	3,331	98.9%	△ 400
生命保険料	13,563	12,080	11,820	△ 1,743	△ 12.9%	△ 260

※ 正味収入保険料は、自動車保険「もどリッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

<参考: 保険料(グロス収入保険料)>

	2015年度	2016年度 (年初予想)	2016年度(今回予想)			
			前期比	増収率	年初予想比	
三井住友海上あいおい生命	4,611	4,773	4,795	183	4.0%	21
三井住友海上プライマリー生命	12,994	10,000	9,500	△ 3,494	△ 26.9%	△ 500

(億円)

	2015年度	2016年度 (年初予想)	2016年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
経常利益	2,915	2,850	2,850	△ 65	-
三井住友海上	1,678	1,740	1,830	151	90
あいおいニッセイ同和損保	617	660	680	62	20
当期純利益 [※]	1,815	1,830	1,830	14	-
三井住友海上	1,139	1,320	1,380	240	60
あいおいニッセイ同和損保	310	420	440	129	20
三井ダイレクト損保	△ 43	△ 6	△ 7	36	△ 1
三井住友海上あいおい生命	60	40	30	△ 30	△ 10
三井住友海上プライマリー生命	178	150	150	△ 28	-
海外保険子会社	285	550	440	154	△ 110
その他・連結調整等	△ 117	△ 644	△ 603	△ 486	41

※ 連結の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表す。子会社の当期純利益は、出資持分ベース。

(億円)

	2015年度	2016年度 (年初予想)	2016年度(今回予想)		
				前期比	年初予想比
グループコア利益	1,475	1,960	1,960	484	-
国内損保事業	919	1,210	1,300	380	90
国内生保事業	250	180	170	△ 80	△ 10
海外事業	279	530	490	210	△ 40
金融サービス事業/リスク関連事業	26	40	0	△ 26	△ 40
その他の事業数値					
コンバインドレシオ(国内損保)	91.6%	94.4%	93.9%	2.3pt	△ 0.5pt
MSA生命EV増加額	△ 520	480	30	550	△ 450
グループROE	5.2%	6.9%	7.6%	2.4pt	0.7pt

※「グループコア利益」、「グループROE」の定義は最終ページをご参照下さい。

資料28 今回業績予想の主な前提

2016年度業績予想
(2016.11.18 発表)内容

	三井住友海上		あいおいニッセイ同和損保	
市場環境の前提	原則、2016年9月末の水準を想定 〔 参考(2016年9月末の水準) 日経平均 16,450円、米ドル 101円、ユーロ 113円、英ポンド 131円 〕			
当年度発生国内自然災害	400億円	(-)	236億円	(+11億円)
うち、熊本地震(除く家計地震)	100億円	(-)	36億円	(+11億円)
異常危険準備金	270億円 ※	(△9億円)	121億円	(△8億円)
(火災保険)	213億円	(△8億円)	63億円	(△76億円)
繰入	57億円	(△0億円)	58億円	(+68億円)
異常危険準備金	210億円	(△0億円)	219億円	(+1億円)
(自動車保険)	-	(△60億円)	84億円	(△63億円)
繰入	210億円	(+60億円)	135億円	(+64億円)
法人税率(実効税率)	28.2%			

※追加的な繰入(100億円)を織り込む

()内は年初予想比

資料29 三井住友海上（単体）2016年度業績予想①

2016年度業績予想
(2016.11.18 発表)内容

(億円)

	2015年度	2016年度 (年初予想)	2016年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	15,074	14,880	14,770	△304	△110
正味収入保険料 増収率	4.3%	△1.3%	△2.0%	△ 6.3pt	△ 0.7pt
正味損害率	58.9%	62.1%	62.1%	3.2pt	0.0pt
正味事業費率	31.0%	31.5%	31.3%	0.3pt	△ 0.2pt
コンバインド・レシオ	89.9%	93.6%	93.4%	3.5pt	△ 0.2pt
インカードロス(含む損害調査費)	8,971	9,206	9,009	37	△ 197
保険引受利益	191	520	690	498	170
ネット利息及び配当金収入	794	790	760	△ 34	△ 30
有価証券売却損益	991	553	615	△ 376	62
有価証券評価損	△ 72	△ 30	△ 30	42	0
資産運用損益	1,528	1,272	1,184	△ 344	△ 87
経常利益	1,678	1,740	1,830	151	90
特別損益	△ 117	△ 60	△ 61	56	△ 1
当期純利益	1,139	1,320	1,380	240	60
〈除く家計地震・自賠責〉					
正味収入保険料 増収率	4.4%	△1.3%	△2.2%	△ 6.6pt	△ 0.9pt
正味損害率	56.0%	58.8%	58.9%	2.9pt	0.1pt
正味事業費率	33.1%	33.5%	33.4%	0.3pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ	89.1%	92.3%	92.3%	3.2pt	0.0pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,481	7,634	7,444	△ 36	△ 190

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

29

資料30 三井住友海上（単体）2016年度業績予想②

2016年度業績予想
(2016.11.18 発表)内容

正味収入保険料

(億円)

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			増収率
火災	2,424	1,864	△23.1%
海上	669	582	△13.1%
傷害	1,409	1,424	1.0%
自動車	6,456	6,565	1.7%
自賠責	1,865	1,858	△0.4%
その他	2,248	2,477	10.2%
合計	15,074	14,770	△2.0%
除く家計地震・自賠責	13,200	12,905	△2.2%

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			前期比
火災	55.2%	74.2%	19.0pt
海上	53.9%	59.5%	5.6pt
傷害	57.7%	54.7%	△ 3.0pt
自動車	59.2%	58.1%	△ 1.1pt
自賠責	79.8%	81.3%	1.5pt
その他	47.2%	53.8%	6.6pt
合計	58.9%	62.1%	3.2pt
除く家計地震・自賠責	56.0%	58.9%	2.9pt

インカードロス(除く家計地震・自賠責)

(億円)

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) ^{※1}	7,481	7,444	△ 36
自然災害 ^{※2}	381	400	18
自然災害以外	7,099	7,044	△ 55

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金繰入額

※2 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。ただし2015年度は、大雪(2014年2月発生)に係るインカードロス(1億円)を含む。

MS&AD Insurance Group Holdings, Inc.

30

(億円)

	2015年度	2016年度 (年初予想)	2016年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	11,920	12,120	11,960	39	△160
正味収入保険料 増収率	2.7%	1.7%	0.3%	△ 2.4pt	△ 1.4pt
正味損害率	59.2%	61.3%	60.5%	1.3pt	△ 0.8pt
正味事業費率	34.3%	33.9%	33.8%	△ 0.5pt	△ 0.1pt
コンバインド・レシオ	93.5%	95.2%	94.3%	0.8pt	△ 0.9pt
インカードロス(含む損害調査費)	7,064	7,490	7,283	218	△ 207
保険引受利益	248	380	390	141	10
ネット利息及び配当金収入	395	310	320	△ 75	10
有価証券売却損益	104	85	72	△ 32	△ 13
有価証券評価損	△ 66	△ 30	△ 30	36	-
資産運用損益	349	260	261	△ 88	1
経常利益	617	660	680	62	20
特別損益	△ 202	△ 100	△ 100	102	-
当期純利益	310	420	440	129	20
〈除く家計地震・自賠責〉					
正味収入保険料 増収率	2.9%	2.1%	0.6%	△ 2.3pt	△ 1.5pt
正味損害率	56.1%	58.1%	57.0%	0.9pt	△ 1.1pt
正味事業費率	36.5%	35.9%	35.7%	△ 0.8pt	△ 0.2pt
コンバインド・レシオ	92.6%	94.0%	92.7%	0.1pt	△ 1.3pt
インカードロス(含む損害調査費)	5,737	6,116	5,901	163	△ 215

正味収入保険料 (億円)

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			増収率
火災	1,676	1,466	△12.6%
海上	57	54	△6.4%
傷害	635	603	△5.1%
自動車	6,718	6,816	1.4%
自賠責	1,706	1,689	△1.0%
その他	1,126	1,332	18.3%
合計	11,920	11,960	0.3%
除く家計地震・自賠責	10,209	10,266	0.6%

正味損害率

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			前期比
火災	51.9%	63.6%	11.7pt
海上	43.4%	55.6%	12.2pt
傷害	52.0%	48.9%	△ 3.1pt
自動車	58.1%	56.9%	△ 1.2pt
自賠責	78.1%	79.3%	1.2pt
その他	53.0%	57.1%	4.1pt
合計	59.2%	60.5%	1.3pt
除く家計地震・自賠責	56.1%	57.0%	0.9pt

インカードロス (除く家計地震・自賠責)

(億円)

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) ^{※1}	5,737	5,901	163
自然災害 ^{※2}	299	236	△ 63
自然災害以外	5,438	5,665	226

※1 インカードロス＝正味支払保険金＋損害調査費＋支払備金繰入額

※2 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。ただし2015年度は、大雪(2014年2月発生)に係るインカードロス(1億円)を含む。

(億円)

	2015年度	2016年度 (年初予想)	2016年度(今回予想)		
			前期比	年初予想比	
正味収入保険料	26,995	27,000	26,730	Δ265	Δ270
正味収入保険料 増収率	3.6%	0.0%	Δ1.0%	Δ 4.6pt	Δ 1.0pt
正味損害率	59.1%	61.8%	61.3%	2.2pt	Δ 0.5pt
正味事業費率	32.5%	32.6%	32.4%	Δ 0.1pt	Δ 0.2pt
コンバインド・レシオ	91.6%	94.4%	93.7%	2.1pt	Δ 0.7pt
インカードロス(含む損害調査費)	16,035	16,696	16,291	256	Δ 405
保険引受利益	439	900	1,080	640	180
ネット利息及び配当金収入	1,189	1,100	1,080	Δ 109	Δ 20
有価証券売却損益	1,095	638	686	Δ 409	48
有価証券評価損	Δ 139	Δ 60	Δ 60	79	0
資産運用損益	1,877	1,532	1,445	Δ 432	Δ 87
経常利益	2,296	2,400	2,510	213	110
特別損益	Δ 320	Δ 160	Δ 161	158	Δ 1
当期純利益	1,450	1,740	1,820	369	80
〈除く家計地震・自賠償〉					
正味収入保険料 増収率	3.7%	0.2%	Δ1.0%	Δ 4.7pt	Δ 1.2pt
正味損害率	56.1%	58.5%	58.0%	1.9pt	Δ 0.5pt
正味事業費率	34.5%	34.6%	34.4%	Δ 0.1pt	Δ 0.2pt
コンバインド・レシオ	90.6%	93.1%	92.4%	1.8pt	Δ 0.7pt
インカードロス(含む損害調査費)	13,219	13,750	13,345	126	Δ 405

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味収入保険料 (億円)

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			増収率
火災	4,101	3,330	Δ18.8%
海上	727	636	Δ12.5%
傷害	2,045	2,027	Δ0.9%
自動車	13,174	13,381	1.6%
自賠償	3,571	3,547	Δ0.7%
その他	3,374	3,809	12.9%
合計	26,995	26,730	Δ1.0%
除く家計地震・自賠償	23,409	23,171	Δ1.0%

※ 自動車保険「もどりッチ」の払戻充当保険料を控除したベース

正味損害率

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			前期比
火災	53.8%	69.5%	15.7pt
海上	53.1%	59.2%	6.1pt
傷害	56.0%	53.0%	Δ 3.0pt
自動車	58.6%	57.5%	Δ 1.1pt
自賠償	79.0%	80.3%	1.3pt
その他	49.1%	54.9%	5.8pt
合計	59.1%	61.3%	2.2pt
除く家計地震・自賠償	56.1%	58.0%	1.9pt

インカードロス (除く家計地震・自賠償)

(億円)

	2015年度	2016年度(今回予想)	
			前期比
インカードロス(含む損害調査費) ^{※1}	13,219	13,345	126
自然災害 ^{※2}	681	636	Δ 45
自然災害以外	12,538	12,709	171

※1 インカードロス=正味支払保険金+損害調査費+支払備金繰入額

※2 「自然災害影響」は、当年度発生国内自然災害のインカードロスの金額。ただし2015年度は、大雪(2014年2月発生)に係るインカードロス(3億円)を含む。

(億円、1 ㉟=146円を想定)

	2016年度連結決算影響	
	今回予想	年初予想比
正味収入保険料	3,699	△124
当期純利益	54	△ 44
グループコア利益	228	△ 60

※グループコア利益=当期純利益(54億円)+のれん等償却費(158億円)+特別損益(ロイズ事業・再保険事業のMS Amlinへの統合コスト、17億円)
 ※年初予想の想定為替レートは1 ㉟=162円

「グループコア利益」の定義

グループコア利益 = 連結当期利益 - 株式キャピタル損益（売却損益等） - クレジットデリバティブ評価損益 - その他特殊要因
 + 非連結グループ会社持分利益

グループROE = グループコア利益 ÷ 連結純資産（期初・期末平均、除く非支配株主持分）

予想および見通しに関する注意事項

この資料に記載されている内容のうち、MS & ADホールディングスならびにグループ各社の将来に関する計画や戦略、業績に関する予想や見通しは、現時点で把握できる情報から得られた当社グループの判断に基づいています。実際の業績は、さまざまな要因によりこれらの業績見通しと異なる結果になり得ることをご承知おき下さいますようお願いいたします。実際の業績に影響を及ぼし得る要因としては、(1)事業を取り巻く経済動向、(2)保険業界における競争激化、(3)為替レートの変動、(4)税制など諸制度の変更、などがあります。

お問い合わせ先

MS&AD インシュアランス グループ ホールディングス株式会社
 広報・IR部

TEL: 03-5117-0311

e-mail: ms_ad_ir@ms-ad-hd.com

URL: <http://www.ms-ad-hd.com>